

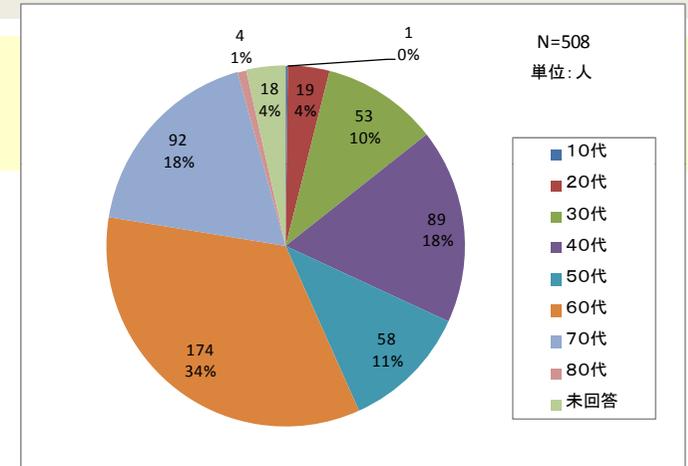
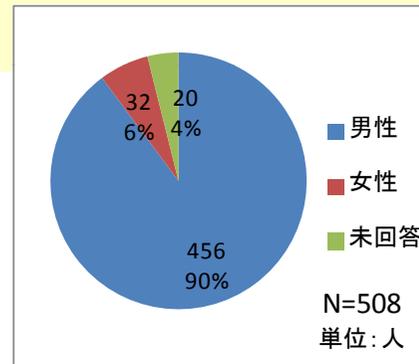
アンケート結果の紹介

アンケート結果の紹介(1/4)

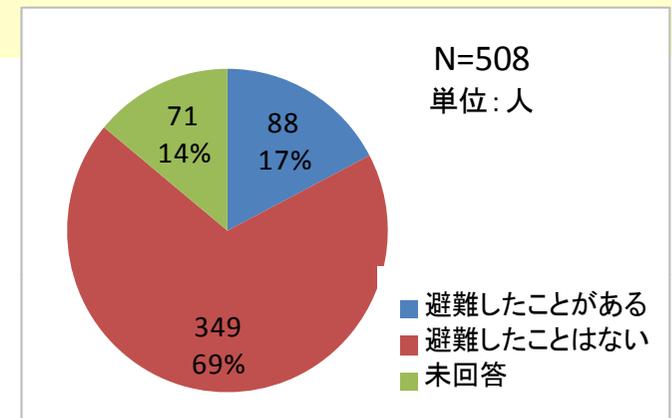
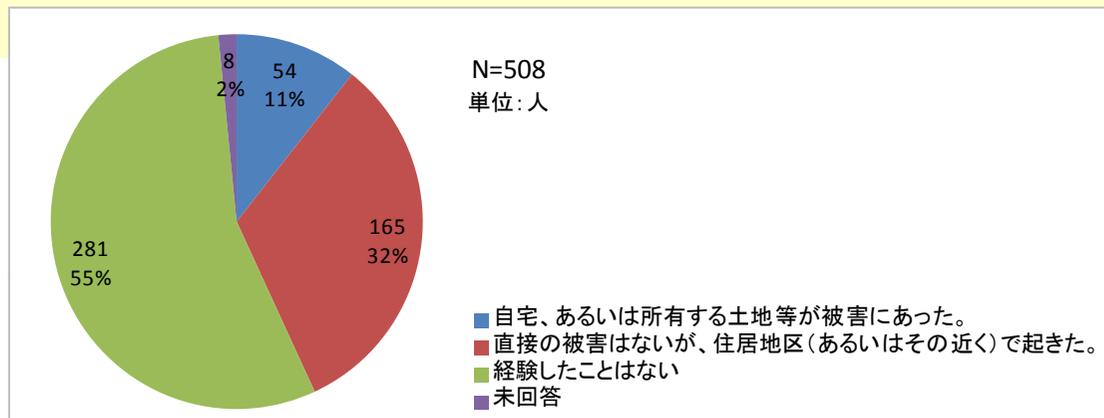
- ・ **目的** : 大規模土砂災害の発生に備えた警戒避難や情報伝達に関する検討の基礎資料とする
- ・ **対象者** : 九州山地に位置する、37市町村を対象とし、自治体の防災担当者、山間部における自治会区長など地域の防災リーダーに該当する方に実施
- ・ **期間** : 平成26年1月24日～2月17日
- ・ **方式** : アンケート用紙の配布・回収方式

= 結果 =

- 回答者：508人。半数以上が60歳代以上の方であるが、40歳代以下の方からも4割ほどの回答あり
男性が9割



- 回答者の4割強が土砂災害経験（被災、近くで被災）のある方、2割弱が避難経験のある方



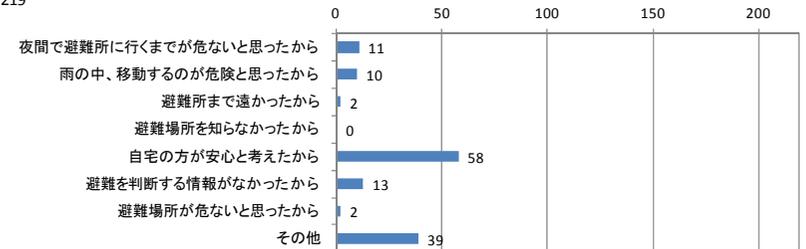
アンケート結果の紹介(2/4)

①過去に経験した土砂災害の際に、避難をしなかった理由

⇒自宅が安全、避難判断の有効な情報が無い、避難所までの移動がその時点で危険と判断されたといった理由が多かった。

(設問1)災害経験がある+住居地区で起きた人のうちで
設問4)“避難したことはない”を選択された方にお聞きします。
避難しなかった理由を教えてください。

単位:人
N=219



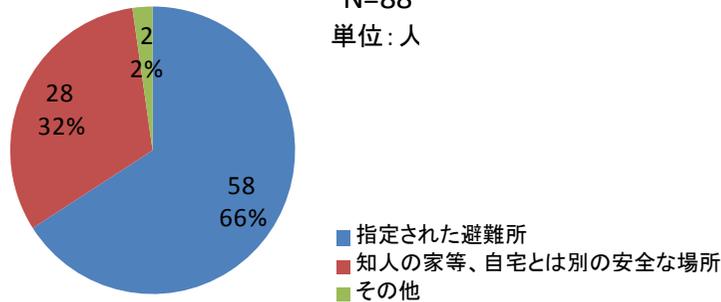
②過去に避難した土砂災害の際に、避難した理由

⇒避難指示・避難勧告の発令を受けて逃げた場合と、自主的に不安感や予兆、過去の経験や伝承から避難したことがある。
⇒予防的な避難(暗くなる前、災害発生前)も一部では実行されている。

設問3)避難したことがある”を選択された方にお聞きします。どこに避難されましたか？ また、避難したきっかけを教えてください。

避難したと回答

N=88
単位:人

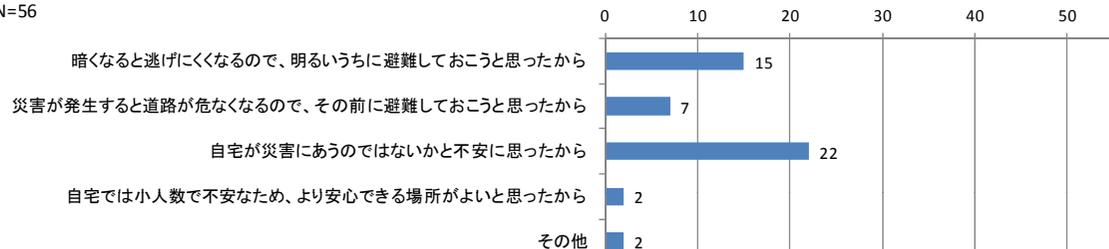


単位:人
N=88



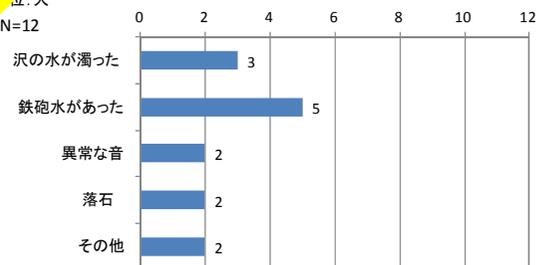
(a)

単位:人
N=56



(b)

単位:人
N=12

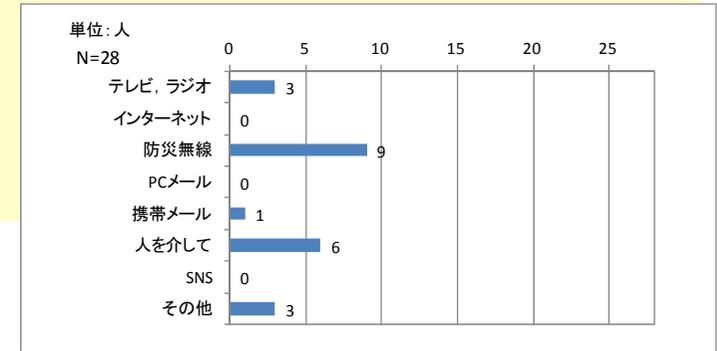


アンケート結果の紹介(3/4)

③過去に経験した土砂災害の際に、避難指示・避難勧告は何で把握したか？

⇒避難指示・勧告はテレビ・ラジオより防災無線で知ったケースが多い
⇒市町村単位、地区単位の情報を一斉に発信するには、防災無線も有効

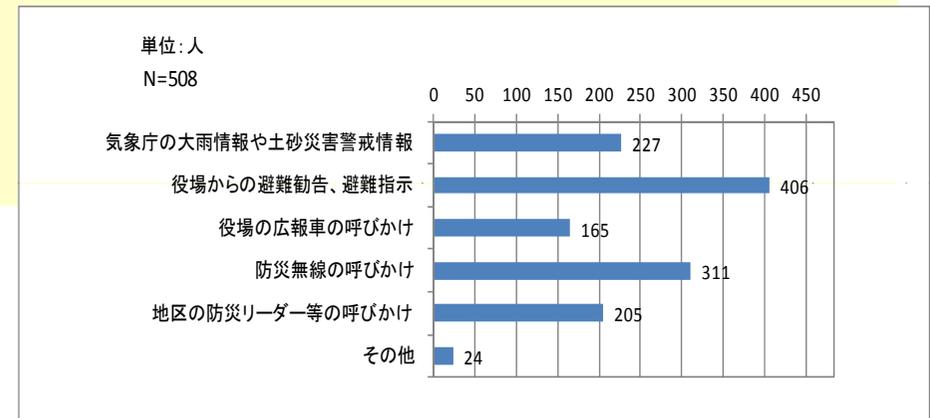
設問3-7) 避難行動のきっかけが避難指示避難勧告が発令されたから、の回答者が、どこでそれを把握したかの内訳



④今後避難する場合参考にする情報

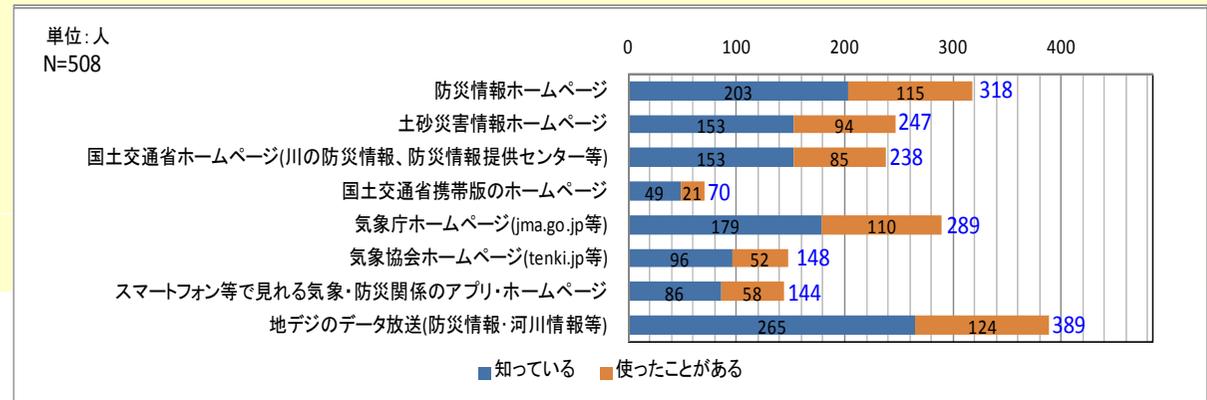
⇒現状では、役場からの避難勧告・避難指示や、防災無線などの各種呼びかけを受けて避難しようという意識が強い
(受け身の避難)

設問5) 災害発生時にどんな情報があれば避難しようと思いますか？(複数回答可)



⑤災害時に有用なシステム

⇒一方で、災害時に有用な情報システムとしての地デジのデータ放送や、各種ホームページも一定の知名度を持っている
⇒今後こういった情報を住民・自主組織等で積極的に把握し早期に自主的な避難を行うことが望まれる



※青数字は知っている人の合計

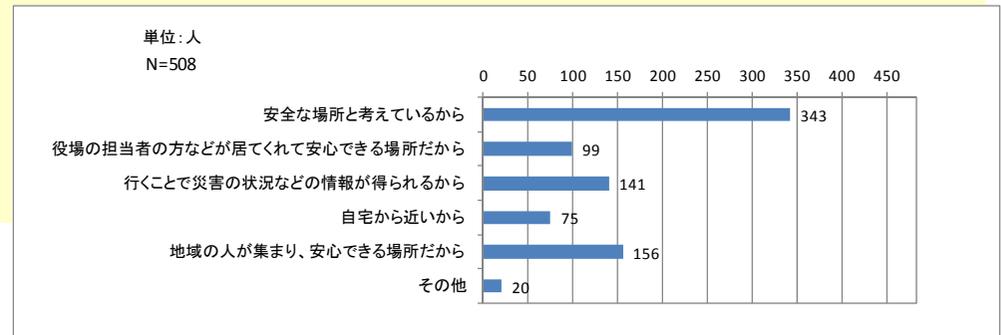
設問9) 県や国などが提供している以下のサービスについて、知っている、又は使ったことがあるものを教えてください。

アンケート結果の紹介(4/4)

⑥ 今後避難しようとする場所を選んだ理由

⇒避難所は第一に、安全な場所であることを求める声が多い
⇒また、人がいる安心感や、災害情報が入手できることなどが求められている

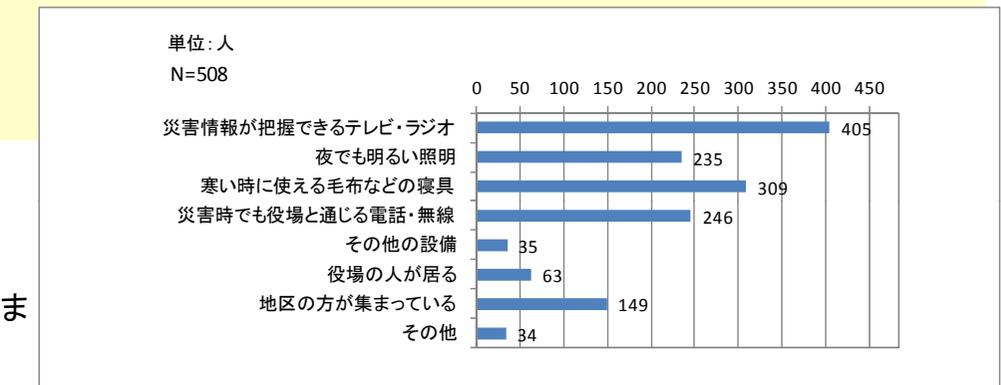
設問8) 避難行動を起こすときあなたが避難所を選ぶ理由



⑦ 避難所に求める機能

⇒施設としては、テレビ・ラジオや毛布等の寝具、双方向性を持つ通信機能などへのニーズが高い

設問9) 避難所にどのような機能があれば、行こうと思いませんか？(複数回答可)



⑧ 災害時に避難先で必要と考えられる伝達手段

⇒避難後の伝達手段としては、問合せのできる各種電話や、情報を迅速・一斉に伝えられ慣れ親しんでいる防災無線のニーズが高い。
⇒インターネット系の手段は積極的に活用できる層が広がれば、有効性がより高まると考えられる。

設問11) 災害時、避難先で必要と考えられる情報伝達手段は何か

